

平成31年3月14日

足立区立中島根小学校
学校長 武井 利依 様

足立区立中島根小学校
開かれた学校づくり協議会
会 長 米重 哲彦

平成30度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

本校が地域、協議会、PTAとの連携を図り、教職員が協力して学校運営に取り組むことで、児童が充実した学校生活を送れていることに深く感謝いたします。

協議会としても、全体的には子ども達は落ち着いて学校生活を送っており、明るく元気に授業や学校行事に取り組んでいると考えています。また、保護者の協力を得られていることは非常に大切なことと思います。

新規採用者3名を含め、若い先生が多いと思いますが、2名の主幹教諭を中心によくまとまっており、若いちからを生かし、組織全体で協力して行事や児童への指導に熱心に取り組んでいただいていると感謝しています。

今年度も着実にいろいろな課題に取り組み、成果をあげていると感じられます。これからも、「チーム中島根」を合言葉に、教職員の皆さんが協力して課題に取り組むことを期待します。

学校評価アンケートでは、学力向上に対する学校の取り組みに感謝の言葉が寄せられるなど概ね良好な結果が得られていると考えます。しかしながら、学校からの連絡について不安を訴える声もありました。保護者とのコミュニケーションは大変重要であり、小さな意見も受け止め改善につなげる努力をお願いいたします。

協議会や地域との連携、保護者との協力、そして先生方の学校運営に対する努力が、子ども

も達の元気で楽しい、そして安全で安心できる学校生活を支えていると考えます。

学力については、パワーアップタイムやハッピータイムなど個々の取り組みや家庭との連携を図り家庭学習の定着を図るなど教職員が一致協力して的確な指導ができていると考えます。

毎月の「おはよう5点」など全校的な取り組みで、基本的な生活習慣の確立に努力されていると思います。また、ランチルームを活用した食育では大きな成果を上げていると考えます。

また、環境教育については「グリーンカーテン」「芝生」「ビオトープ」に加え、「果樹の生育」「水田の活用」などますます充実し多彩な取り組みに進展しています。協議会としてもPTAなどとも協力して持続可能な取り組みに協力をしていきたいと思っています。

2. 重点的な取り組み事項について

◎ 学力の向上

学力向上に関しては、今年度の達成目標である、国語80%以上、算数90%以上が達成できなかったことは残念ですが、詳細な分析を行い、状況を把握したうえで、今後の具体的な指導に活かしていただきたいと考えます。

引き続き、教師の授業力を高めるとともに、子ども達の傾向を分析し、個別具体的な指導を行うことを継続して実施することが目標を達成できる「ちから」になると考えます。

また、家庭学習の重要性を保護者の皆さんにご理解いただき、家庭での学習や生活習慣の確立に取り組んでいただく事も、非常に大切な要素と考えます。学力向上に関しても保護者の理解と協力は欠かせないと思いますので、その点についても引き続き努力をお願いいたします。

「パワーアップタイム」や「ハッピータイム」など学校のきめ細かな対応が、目に見える成果として保護者にも伝わり、家庭での学習への意欲につながることを期待します。子ども

達が「分かる」という成功体験を通じて、自信を持って学べる事ができれば、必ず成果につながると考えます。引き続き、きめ細かい指導をお願いします。

○基礎・基本の定着と活用する力の伸長

学力状況調査の通過率全校平均が国語 77.6%、算数 74.0%と本年度は達成基準を上回る事ができませんでした。分析結果を指導に活かしていただき、継続した努力を期待します。

○パワーアップタイム

各学年ごとに内容を検討して着実な実践で、成果を挙げていると考えます。

○放課後補習教室（ハッピータイム）

子ども達にとって授業の中で分からないことを、あらためて理解し、次のステップに向かうことは、学習意欲を継続していくうえで大変重要です。保護者からも感謝の声が寄せられるなど大きな成果を挙げていると考えます。

○基礎・基本の時間

基礎的な内容を復習し定着させることは、特に小学生においては大変重要な事と考えます。時間等の確保に苦慮されているようですが、工夫を凝らして継続的な取り組みをお願いします。

○サマースクール

夏休みなど長期の休業中は学力の定着、向上の大きな機会の一つと考えます。子ども達の理解度や個別の課題を発見し対策に取り組むことをこうした機会に行うことは大変良いことと評価します。

また、中学生の学習ボランティアの皆さんが協力していただけることは、子ども達にとっても、身近なお兄さん、お姉さんから「学ぶ」という体験を通じて、学習意欲の向上につながると思います。ご協力いただいた中学生の皆さんにもあらためて感謝いたします。

○保護者への啓発

家庭学習の習慣の確立は、保護者の理解なしには達成できません。一方で理解を得るための取り組みは難しい面も多いと思います。様々な機会を捉えて継続した取り組みを期待します。

○東京ベーシックドリル診断シートの実施

児童学習アンケートでは90%の子どもが「授業がわかる」と考え、86%の子どもが「授業が楽しい」と感じています。また、81%の保護者が「子ども達が授業や家庭学習に取り組み、力が伸びている」と感じています。

学力の定着には児童本人が、課題に気づき、克服しようとする姿勢が求められます。分析と指導の在り方を研究して、子ども達一人一人が気づき、取り組むことで学校全体の学力の向上につながるよう継続した努力をお願いします。

◎ 健全な心身づくり

全学年で投げる力の数値が区内の平均を下回るなど課題が見られます。

健全な心身は何事についても基本と考えます。体力づくりの着実な取り組みが、生活習慣の改善につながるとも言えますので、今後も継続した活動をお願いいたします。

○基本的な生活習慣の確立

早起きや朝ごはんは達成基準を上回り、虫歯治癒に関しては若干下回る結果となっておりますが、継続した方策が効果を挙げていると評価します。

協議会委員からは「一部の子ですが、登校時のあいさつができない子や、遅刻を繰り返す子が若干見られる。」との意見が寄せられています。今後、中学生になり、大人への道を進む子ども達にとって、生活習慣の確立は非常に重要な事と考えます。

生活習慣の確立には地域や家庭での取り組みが重要であり、協議会としても「早寝早起き朝ごはん」など基本的な生活習慣を子ども達が身に着けられるよう、地域全体で協力して取り組んでいければと考えています。

○体力向上

休み時間の外遊びやタオル体操、起立による礼など日常的な取り組みが効果を上げていることを評価します。

授業中の姿勢の改善や、校庭100周以上の児童の割合が35%など具体的な効果が表れていることは良い結果と考えます。体力の向上は、子ども達のやる気や続ける力にも大きな

影響があると思います。教師の指導技術の向上を図るとともに、スポーツ推進委員の協力を得るなど、効果的な方策を検討し、今後も、子ども達の体力向上には継続した取り組みをお願いいたします。

○食育の推進

結果として給食残滓率 1.1% という数字となりましたが、ランチルームを活用し、ラッキーセブン給食や誕生日給食など楽しくおいしい給食を進めるための様々な事業や工夫を行い、成果を挙げていると評価します。

食事は文化であり、マナーやコミュニケーションを学ぶ大切な機会です。昨今、食文化が失われ、子どもの個食が問題になるなど、食育の推進は重要な課題となっていると考えます。

引き続き、地域や保護者を巻き込んだ活動の継続をお願いいたします。

◎小中連携を通じた授業力向上

六月中学校、保木間小学校との連携は、地域にとっても重要な活動であり、子ども達の9年間の継続した成長を支援できる機会として大変重要なテーマと認識しています。

○学力に関わる交流

中学校や他の小学校との共同研究授業の充実は、授業力の強化に大変役立つと思います。また、中学校の教師の目線からみた小学校の授業の在り方を検討できたことは、小6から中1へと大きな変化を経験する子ども達にとっては進学への事前準備として良い機会となると思います。

今後も連携の充実を図ってください。

○児童、生徒に関わる交流

運動会での交流リレーの参加や中学生ボランティアの受け入れなど日ごろの交流が成果を生むと思います。特に中学生ボランティアの活動は、中島根を巣立っていった子ども達の成長に触れる機会であり、地域としても学校間の交流は重要性を増していると考えます。

○その他の交流

六月中、保木間小、中島根小三校の連携事業は、30年度は区長を講師に招き、保護者や

地域の方にも多数参加いただくなど非常に有意義な形で実施することができました。

この事業が継続して実りある事業として実施できるのも、日ごろからの各校の連携体制と協力があることと感謝いたします。

◎ 環境教育の推進

環境教育は本校の大きな特徴であり、芝生やグリーンカーテン、ビオトープの維持、果樹の育成や水田による稲作など、年々充実した活動になっていると考えています。地域や保護者の協力も定着しており、先生方の熱心な活動も大変素晴らしいことと高く評価しております。

○校庭の芝生

協議会も参加した「緑を育む会」を中心に、芝生のメンテナンスに取り組んでいます。今年度も多くの保護者が参加している事や先生方にも多数参加いただき、保護者との交流が図れていることも大変素晴らしいことと考えます。

○グリーンカーテン

今年度も地域、保護者、学校が協力してグリーンカーテンを設置し、キュウリの収穫をすることができました。

本年度は収穫では大きな実績は残せませんでした。グリーンカーテンの意義について保護者に理解いただき、大勢の方の協力をいただくことができました。また、生活科、理科、総合的な学習の時間など多くの場面で子ども達の指導に活用していることも大変良いことと思います。

○ビオトープ

自然あふれるビオトープを維持し、各学年が様々な授業で教材として活用していることは高く評価できます。ビオトープに関しても学校、保護者、地域が連携して維持管理に努めていくことが重要と考えています。

○果樹の育成

今年は台風の影響で柿の木が折れるなどハプニングもありましたが、渋柿の加工など体験

的な学習も行え、各学年が担当の果樹を持ち、生育を見守るなど、環境教育に積極的な活用ができていると考えます。

○水田の活用

水田を用いた稲作で代掻きや田植え、脱穀などの体験が行え、有意義な活動ができていると思います。収穫の喜びを知り、子ども達の食育にも大きく貢献していると考えます。

芝生、グリーンカーテン、ビオトープに加え、果樹園、水田が環境教育の場として校内に整のってきたことは中島根小学校にとって大きな誇りです。

維持管理に地域、保護者、学校が協力して取り組んでおり、チーム中島根の大きな「つながり」を生み出す機会と考えます。

これからも「保護者や児童への情報発信と啓発活動」に力を入れていただきたいと思います。協議会としましても、中島根小学校の環境教育の財産を大切に守り育てられるよう最大限の協力をしていきたいと考えています。

3 協議会からの意見、その他

今年度は「明日が楽しみな学校」を目指したて、様々な課題に対して教職員が一丸となって取り組みをされてきたと評価しています。学校だけでなく、協議会、PTA、グリーンパレット中島根そして学童保育室が連携して取り組んでいることも中島根小学校の誇れる特徴だと考えています。

また、近隣の小中学校、保育園との連携もより一層、充実していると思います。

「学力の向上」「体力の向上」「環境教育の取組」さらに「挨拶の励行」「グリーンパレット中島根」など、学校が何をしようとしているか、どのように取り組んでいくのかを地域や保護者に向けて、しっかりと情報発信していくことが大切になります。

今後、「何を学ぶのか」と合わせて「どのような力を身に付けるのか」を明確にしていくことがますます重要になってきます。

本校の教育目標である「すすんで学ぶ子」「仲よく助け合う子」「じょうぶな子」の育成のためには多くの力を結集していくことが重要です。

地域にある様々な資源を活用し、学校と地域、保護者が協力することで、地域の子ども達が、自ら課題を見つけ解決する力を身に付け成長していける環境が実現すると考えます。

それは、子ども達だけでなく、大人にとっても地域の活力となる環境を作ることにつながると思います。

協議会としましても、地域と学校との連携を常に意識し、将来を見据えた環境の整備について考えていきたいと思ひます。